

礼儀について

(社)日本 ITF テコンドー協会 理事長 岸玄二

皆さん、おはようございます。

本日も心のあり方についてお話をさせていただきます。何かのヒントになれば幸いです。

本日は礼儀についてのお話をさせていただきます。皆さん礼儀は大事にしていますか？

なぜ礼儀を大事にするべきなのかというお話です。

そもそも礼儀とは何か？一般的な回答としては”人間関係の基本です”という回答があります。しかし人間関係の基本と言われても、雰囲気は伝わりますがよく分からない部分もあると思います。

分かりやすくするために一つの例を考えてみましょう。あなたがお店に入って欲しいものがあつたとするとどうしますか？”欲しい”と思ってその物を持って行ってしまつてはこれはいわゆる万引きですね。絶対にやってはいけません。欲しいと思つたものはお金をお渡しして受け取るものです。

基本的にはこれと同じことです。あなたが相手に対して何かをお願いする時に、『おい！これやっつけ』と言うのか、『こちらの案件お願いできますか？』と言うのかで結果は全然違ってきます。

まず”与えること”です。それに対して”受け取る”ことです。これが基本です。これはビジネスにも同じことが言えます。相手に対してサービスを提供して、その対価としてお金をいただきます。これを人間関係に当てはめると与えるものが礼儀だということです。

礼儀というものは友達関係には必要ありません。友達関係というものは”合う・合わない”の世界です。性格などが合えば気兼ね無く付き合い、合わなければ接さなければ良いだけのことです。礼儀が必要になるのは”人間付き合い”をする時です。どういった場合かという、一つの目的の元に人が集まる時です。この場合は”合う・合わない”ではありません。皆が目的を達成するために同じ方向に動き出します。簡単に言えば道場がそれに当たります。テコンドーをやるという目的のもとで人が集まりますね。会社も同じことです。こういった場では礼儀が必要になります。若いころからこういった場に身を置き、礼儀を学ぶことはとても意味のあることです。

しかし『そのなのめんどくせー』という方も当然いらっしゃると思います。それはそれで良いでしょう。礼儀が必要ないところで生活していけば良いだけです。ただし礼儀が必要な場で礼儀を払わないことがどうなっていくのかということ武道の考え方を元に考え

てみましょう。

武道を学ぶ上で重要な考え方が2つあります。

一つは”強い”とはどういうことか。それは”あるべき姿でいること”です。

二つ目は”行いには心が伴う”ということです。

ここでは二つ目を元に考えてみます。我々がなぜ道着を整えるのか、礼という作法を正しく行うのか。行いを整えることで心を整えるという考え方です。行いの積み重ねによって心を作り上げようということです。

では礼儀なんてめんどくせーという方が5年、10年と些細なことではありますが行いを積み重ねた結果としてどうなるでしょう。恐らく相手の事を考えられなくなる方になると思います。そうなるのであれば礼儀を必要とする場所に身を置かない方が良いと思います。

では逆に礼儀を大切にされた方はどうなるでしょうか。逆に相手の事を考えられるようになると思います。

相手の事を考えると言いますが、どういったことか説明したいと思います。

皆さん生活していると『自分があの人に嫌われているのでは』とか『今自分の悪口言われているんだろうな』などと考えて落ち込むこともあると思います。しかしこれは自分の事を考えている状態です。

相手の事を考える例として、例えばあなたが道場の指導者でいつもより元気の無い子がいたとします。この時なぜ元気がないんだろうと、その子の周りの事を考えてみます。家で何かあったのかな、学校で何かあったのかな、相手の見ている景色の中には当然あなた自身もいます。

ではその子を何とか元気にしたいと思った時に、相手の景色の中で変えられる部分はどこでしょうか。あなたがその子の家庭のことをどうにかすることも、学校のことをどうにかすることもできません。変えられるのはあなた自身だけです。

相手のことを考えるとは相手の見ている景色を尊重すること、もし相手を良くしていこうと思うのであれば自分を変えることです。

礼儀とは何かというと相手のことを考えることであり、自分を変えるための習慣という事です。自分がどうなりたのかということをよく考えて、取り入れる必要があれば是非

取り入れてみてください。

2021年10月16日
第24回岐阜県テコンドー選手権大会にて